

1 防災「地域の皆さんアンケート」
特集「避難・避難所 Q&A」

憶児童センター新聞

THE AOKISenter NEWSepar

避難・避難所 Q&A



宮崎市防災訓練市体育館にて

近隣の自治会長さん協力のもと避難・避難所に関するアンケートを実施させていただきました。ご協力、誠にありがとうございます。

寄せられました「避難時の不安や質問」について、憶児童センターで調べたうえで、次のとおり回答をまとめました。

皆さんのお役に立てれば嬉しいです。ご家庭でも、この機に我が家の避難について、ご確認いただければと思います。

Q1. 憶児童センターは、災害時すぐに開設するか？

○ 災害の規模や被害の状況に応じて、開設する避難所が決定されるため、全ての避難所が一斉に開設されるわけではありません。憶児童センターが開設しているかどうか、また、どの避難所が開設しているかはTVやスマホ等で確認できます。

Q2. 避難所になったら、誰が来て鍵を開けるの？

○ 避難所開設が決定したら、配備職員として、市の職員2名が来て鍵を開け対応されます。

Q3. 担当者が2名で少ないと思うが…？

○ 開設期間が短期の場合は、市の職員の対応となりますが、中・長期に及び場合は、避難者で運営委員会を立ち上げ、避難所の色々な事について話し合いながら運営していくことになると思います。

Q4. 車椅子で避難できるか？

○ 憶児童センターは、1階も避難スペースとなります。玄関にはスロープもあり、多目的トイレも設置してあるので、車椅子での避難は可能です。

Q5. 児童センターの建物は安全か？

○ 新耐震基準を満たしています。

Q6. 避難受入れ時間は、何時から何時までか？

○ 開設が決定しないと避難所として利用できませんので、夜は閉まっていますし担当者もいません。開設が決定したら、担当者が常駐していますので、時間に関係なく受け入れられます。

Q7. 児童センターには備蓄品はあるか？点検は行っているか？

○ 備蓄品はありません。避難する場合、必要な物はそれぞれ各個人で持つてくることとなります。避難が長引く場合は、物資や食料などが配付されると思います。児童センター敷地内の平塚東・平塚団地自治会防災倉庫の防災備品の点検は、毎年実施されています。

Q8. 受け入れ対象は子どもだけか？また、児童センターは狭くて、多くの人が避難してきた時に大丈夫か？

○ 子どもだけではなく、避難の必要のある住民すべてが対象です。憶児童センターは、避難所としては1階と2階が避難スペースとなります。(人数は下表参照)

Q9. 私達の班は、半分以上が高齢者である。どういふ時にどのような行動をとればよいかわからない。

○ 自分の家が、洪水や津波時に浸水の可能性があり、自宅が「危ない」と思ったなら、早めに避難を開始しましょう。

避難する場所としては、開設された避難所、安全な知人宅、ホテル等が考えられます。避難所に行く場合は、開設されている避難所を確認して、必要な物を持って、避難しましょう。普段から、いざという時に、どこへ何を持って、どんな方法で避難するのか、家族で話し合っておくことが大切です。



Q10. どういう状態の時台風・大雨・津波に避難になるのか？また、その連絡は？

○ 防災気象情報等をもとに、災害が発生するおそれが高まった場合などに、市が避難情報の発令や開設避難所の情報をTVやスマホ等で市民に発信します。避難時は、近所同士で、声をかけ合うことも必要です。

避難所	収容人数
憶児童センター	140人
市総合体育館	5,032人
憶公民館	280人
憶小学校	448人
憶中学校	516人

Q11. 停電の時の対応はどうなるのか？

○ 発電機等の設備は整っていませんので、地域が停電の場合、児童センターも停電となります。懐中電灯やスマホの充電等は、各自での対応となります。

Q12. ペットと一緒に避難所に行ってもよいのか？

○ 宮崎市では、ペット受け入れ可能な避難所が9カ所決まっております。憶児童センターのペット同伴は難しいと思います。



ペットと避難する場合は、受け入れ可能な避難所を事前に調べておくことが必要でしょう。

Q13. 憶児童センターが、避難所として開放されたことはないのではありませんか？積極的に開放して欲しい。地区は高齢者も多く、児童センターが地域の避難所として利用できることを望みます。

○ これまで児童センターが避難所として開設されたことはないようです。開設が決定していない場合の避難所としての利用については、自治会と施設側で、開設に関する諸問題を協議・整理しておく必要があります。

Q14. 児童センターの2階の和室の押し入れに避難用品や備蓄品を置けないか？敷地内の地域の倉庫にも保管しているが、もっと充実したい。

○ 自治会と児童センターを所管する子育て支援課の協議が必要になりますが、調整できれば置くことは可能かと思えます。

Q15. 避難所に行くのは大変なので、近くの高い場所を集約しておき、USアレスという避難したい(ハザードマップ上浸水しない場所)。

○ 「津波避難ビル」に指定されている建物が地域にありますので、ハザードマップで、自宅から近い津波避難ビルを確認しておくことが大切です。



津波の危険性がある場合は、高い所へ避難しましょう。

Q16. 避難所に行った経験がない人にとって、設備や広さが分らず不安だ。避難体験が必要なのではないか？

○ 児童センターの施設見学は、開館時であればいつでも可能です。お気軽にご来館ください。

また、地区や樟児童センターでは、毎年、防災訓練等を実施していますので、是非、訓練等への参加もご検討ください。

Q17. 3日間程度の飲食物を持って来る予定なのですが、お湯を沸かしたりするコンロはあるのか？

○ 事務室には、ガスコンロがあります。

また、カセットコンロ3台と予備のガスパンクが数本あります。本年度、焚火台を4台揃えました。また、薪もあります

ので、庭でお湯を沸かしたり炊き出しをしたり、少しはできると思います。



Q18. 小さい子がいるため避難は大変で、不安である。

○ 乳幼児や高齢者のみなさん及びそのご家族は、避難について色々と不安があるかと思いますが、避難時に持っていくもの（例えば乳児おむつやおもちや、高齢者であれば薬等）を十分に準備できるようにしておく必要があります。また、避難所までの経路や交通手段等、普段から確認しておくこと、不安も軽減されると思います。

Q19. 家の修理が必要な時、地元の仕事店等の連絡先が分かるものが欲しい。

○ あると便利だと思います。事前に、インターネット等で調べて、メモしておく良いと思います。地域等でまとめたものがあるかも知れませんが、基本的には各自で調べたいものになります。

Q20. 台風時の避難所開設は風雨が強くなるとかひどい時、中々行けない行かない。



○ 風雨が強い時の避難は危険を伴います。早めの行動が必要です。行政側も早めに避難情報の発令をされていると思います。「夜中の開設」は避けて欲しいという事です。行政側も、そこは十分理解されていることだと思います。予測できない風雨等で、危険な状況の場合は、夜中でも避難情報が発令される場合があります。

Q21. 以前、公民館に避難した人から、騒々しくて眠れなかったで、もう避難所には行かないと聞いた。

○ 避難者の中には、外見では分からない配慮が必要な方もいます。避難所を利用する場合は、マナーを守り、みんなで気をつけていきたいところです。騒音の少ない個別ブース等も色々と開発されているようです。

Q22. 難聴で、みんなの音がひびいて大変だった。

○ 避難所での受付で、難聴であることを伝えることが必要だと思います。場所を配慮するなど、可能な範囲で対応してくれると思います。

Q23. 避難所は分かるが、実際災害が起こった際、どこから建物に入るか分からないので不安だ。

○ 開設が決まった避難所は、担当者が鍵を開けていますので、玄関から入ることができます。避難所へ行くとも鍵が開いていない場合は、その避難所は開設されていないということになります。自分の近くのどの避難所が開設されているのかは、TVやスマホ等で確認する必要があります。開設避難所や収容人数等もすぐに分かるアプリもあります。

Q24. 個別のブース（仕切り）はどの様なものか？宮崎市の避難所は、どうなっているか？

○ 全国的には、テントや段ボールカーテン等で仕切りをしようとするものがあります。宮崎市内の避難所では、数に限りがあるようですが、避難者の状況により設置することもあるようです。



Q25. 近所の方が知になります。また、身体が不自由な方をサポートする方法はあるか？

○ 避難に心配がある場合は、近所で声をかけあったりして皆で助け合うことが望めます。体が不自由な方々の避難については、関係機関と相談し地域での助け合いの仕組みを整備する必要があります。

Q26. 近くの公民館を避難所として活用させて欲しい。

○ 公民館の樟児童センターと同じですが、避難所に指定されていない公民館を、避難所として活用するには、自治会と施設側が開設に関する諸問題を解決・整理する必要があります。

Q27. 避難所としての認識はほとんどない。場所として、もう少し高台がいい。

○ 児童センターは指定避難所となっており、開設時の場所は1階～2階の各部屋になります。津波から一時的に避難する場所としては、「津波避難ビル」があります。自宅周辺の高い所や津波避難ビルも確認しておくことが必要かと思っています。

Q28. 夜中に地震があった場合、市体育館等にはいっても行けない。近くの児童センターを利用する方法が分からない。鍵もないし、連絡先も分からない。どうやって利用できるのか、大きな字で分かりやすい文書で教えて欲しい。

○ 津波の浸水想定区域にいる時に大きな地震が発生した場合は、まず、津波避難ビルなどの高い建物へ避難しましょう。津波の危険がなくなってから、開設している避難所へ避難しましょう。樟児童センターが避難所として開設されれば、担当者がいますので玄関から入ることが出来ます。（樟児童センター連絡先は第一面右上記載）

Q29. 避難指示が出ても、周りが避難していなかったので声掛け合っ取組を促して欲しい。

○ 避難情報が発令されたら、危険な場所にいる方は、周りが避難していなくても避難を考えることが必要です。近所で声を掛け合っ避難できることがいいと思います。

Q30. 数年前に、市体育館が避難者が多く利用できない事があったという。追加避難所として確保（準備体制を取って欲しい）。

○ 市体育館以外にも、学校や市の施設等、避難所に指定されている場所があります。収容人数が多くなれば、順次、避難所として開設されていきます。

【あじがわ】

- ・内容的に同じような質問は、まとめてあります。
- ・スマホ使用にあたっては、事前に、防災に関連するアプリやメールの登録等が済んでいることが前提です。

(文中Q1-Q10)

- ・回答で不明な点や確認事項がある場合は、樟児童センター館長へご連絡ください。

- ・宮崎市危機管理課が出している「防災ハンドブック」(市役所・児童センターに配置)は、避難について分かるやさしく簡潔にまとめてありますので、是非、ご覧ください。